

熊谷市総合戦略の取組状況

取組		実施内容・現状	成果指標	H27実績	
1	1	1 (企業誘致) 本社機能事業所誘致	「企業立地支援条例」の平成28年4月1日条例改正により制度開始。 平成28年7月末現在、本社(資本金1000万円以上)の企業は2件。	—	—
		2 (企業誘致) 正社員の雇用促進	「企業立地支援条例」の平成28年4月1日条例改正により制度開始。	—	—
		3 (企業誘致) 従業員転入奨励金制度の創設	「企業立地支援条例」の平成28年4月1日条例改正により制度開始。	—	—
		4 (企業誘致) 中心市街地立地への企業立地支援	「企業立地支援条例」の平成28年4月1日条例改正により制度開始。 不動産会社等を訪問して支援制度の説明を行い、オフィス立地を促進する。	—	—
		5 佐谷田地区新駅周辺開発	佐谷田地区新駅周辺の市街化編入を調整中。	—	—
		6 池上ほ場整備道の駅・食の拠点整備	ほ場整備を進めるとともに、食の拠点整備に向け調整中。	—	—
		7 農地所有適格法人(企業)誘致	平成29年度操業予定の千代地区の食品加工工場が検討中。	—	—
		8 熊谷固有の農作物のブランド化	妻沼地区のブランドハツ頭の栽培が増加傾向。 妻沼茶豆は加工業者との連携が見られる。	茶豆農家	5件
1	2	1 創業の促進・支援	H27年度は、「産学連携推進事業」で地域産業の振興を図った。 H28年度から商工会議所・商工会とともに創業希望者を支援する。	創業件数	11件
		2 女性の起業支援	H27年度から「女性の起業は熊谷de事業」として、女性のための創業セミナー、相談会を実施し、出店の際の空き店舗活用も支援している。	女性 創業者数	1人
		3 中小企業ものづくり団体支援	平成28年8月に設立した複数の工業団体を集約させた「ものづくり熊谷」に支援する。	—	—
		4 中小企業融資の促進	事業者の需要を踏まえ、支援策を検討・調整中。	融資件数	3件
1	3	1 女性版リターンワーク	事業化へ向けて検討・調整中。	—	—
		2 企業内保育所設置の促進	平成28年度から制度開始。現在4件の相談がある。	—	—
		3 シルバー人材センターによる就労環境の充実	法律の改正により、派遣事業の業種拡大が見込まれている。	—	—
		4 埼玉県農業大学校卒業予定者の就農支援・育成	平成28年度に大学校生を対象に新規就農に関する説明会を実施予定。	新規 就農者数	7件
1	4	1 2つの商業核をつなぐ産業・交流核等の整備促進	北部地域振興交流拠点の整備等により、中心市街地の活性化を図れるよう調整中。	—	—
		2 空き店舗活用の支援	空き店舗を利用した事業者はH28年7月現在2件、うち1件は転入者である。 中小企業庁関連HPIによる周知も行っている。	空き店舗 利用数	1件
		3 商業核強化支援	H28年度には、中心市街地の5館の大型商業店舗共同による集客事業を支援し、周辺商業店舗との連携で、中心市街地の活性化を図る。	—	—
		4 「まち元気」熊谷市商品券の発行	市内商業等の活性化のため、販売のほか、市の補助金を商品券に替えて交付している。平成28年度は9,000万円販売する。	発行額	8,700万円
		5 観光による交流人口の増加 (ラグビーによる商業活性化)	平成28年度、熊谷駅前にWi-Fi環境を整備するほか、ラグビーwebサイトの開設により、熊谷市のまちの魅力を情報発信する。	—	—

取組		実施内容・現状	成果指標	H27実績	
2	1	1 若年層住宅購入に係る固定資産税等の課税免除	平成28年7月末現在、214件。	免除数	186件
		2 三世代ふれあい家族住宅取得応援	平成28年7月末現在、83件。	補助件数	222件
		3 スマートハウス補助	平成28年7月末現在、8件。	補助件数	59件
		4 勤労者住宅資金貸付利子補助	平成27年度から5年間の利子補給を実施。	補助件数	2件
		5 奨学金の返済に係る経済的な負担軽減	平成28年10月から実施。	—	—
		6 新幹線通勤助成	平成28年度から実施。7月末現在2件。	—	—
		7 公共交通の利便性の向上	ゆうゆうバスの運行ルートの見直しを検討中。	—	—
		8 医療体制の充実強化	第1次(休日・夜間急患診療所の運営)、第2次(市内4病院)、第3次(深谷赤十字病院)救急医療体制への支援で、医療体制を確保・維持する。	—	—
		9 防犯体制整備	警察との連携のほか、自主防犯組織の活動を支援し、事業所等との防犯協定の締結を進める。	自主防犯組織数	331団体
		10 災害時体制整備	地域ごとの防災組織の活動を支援するとともに、企業との協力体制を促進する。	自主防災組織率	68.80%
		11 中心市街地の空き家・空き店舗の活用	特定空き家は、平成28に安心安全課で自治会による調査を実施する。空き店舗はまちづくり会社との連携を図る。	—	—
		12 農村地域の空き家対策	農村の空き家は平成28自治会による調査を実施する。	—	—
2	2	2 観光による交流人口の増加(観光地域づくりの担い手の育成)	平成27年度は、「熊谷の魅力再発見シティセールス推進事業」、「暑さ対策えんむすび日傘事業」、「熊谷の魅力再発見観光・文化財ナビ導入事業」で、観光客に向けた情報発信した。平成28年度は、上武絹の道のストーリーに基づく魅力の発信のほか、まちづくりの担い手となるまちづくり熊谷を支援し、熊谷の情報発信を継続して実施する。	・観光入込客数 ・聖天山客数 ・文化財ナビ利用者数	・3,629,364人 ・747,000人 ・92人
		5 立正大学との連携	立正大学在学学生対象に、市政に関する講演授業を行う。またインターンシップを受け入れ、学生の就職活動を支援する。	市政講座数	15講座
		6 転入促進・転出抑制の情報発信	「熊谷で暮らす」の配布、FM-NACK5の番組放送ほか、H29からは若者定住を目的に発足した北部地域地方創生推進協議会のHPを開設する。	・熊谷で暮らす配付数 ・ホームページアクセス数	・15,000部 ・2,215,155件

取組		実施内容・現状	成果指標	H27実績	
3	1	1 不妊治療費の経済負担軽減	今後も支援を続けるとともに、平成27年10月からは男性も対象に助成を開始した。	妊娠数	37人
		2 周産期・小児医療体制の充実	小児医療の輪番病院体制を支援していく。	—	—
		3 妊婦から子育て卒業までの相談体制整備	子育て世代総合支援窓口の設置について検討・調整中。	—	—
		4 結婚の促進	北部地域地方創生推進協議会での婚活イベントを開催し、結婚を促進する。	—	—
3	2	1 保育所保護者負担金多子軽減	平成27年度から埼玉県制度に併せて第3子の保育料を無料する。	無料件数	176件
		2 こども医療費無料化拡大	平成29年1月から高校卒業までに拡大する。	—	—
		3 認定こども園の設置促進	0～2歳児の保育拡大のため設置を促進する。	認定こども園数	2件
		4 地域子育て拠点充実	妊婦も訪問し、相談・交流できるような拠点として広報していく。	—	—
		5 ファミサポ・病児等緊急サポート充実	医療機関との連携を図り、病院での保育を検討・調整中。	—	—
		6 学童保育施設の整備	年3カ所ずつ増設を目標として整備している。	整備件数	3か所
		7 予防接種情報支援	平成27年度から実施し、保護者の精神的負担の軽減が図られるアプリの登録者数の増加のため広報していく。	アプリ登録者数	1,052人
		8 子育て応援団・人材の育成	熊谷市全体で子育てを理解し、協力できるような体制を整備するため子育て講座等の開催を検討・調整中。	—	—
3	3	1 学習支援充実くまなびスクール	平成27年6月から全中学校で実施している。	全国学力調査の平均点	0.7ポイント高
		2 英語教育の推進	平成28年度からラウンド4と呼ばれる複数回繰り返す授業を実施し、英語力の向上を図る。	—	—
		3 魅力ある授業の充実	平成26年度から体育指導専門員を各学校に派遣している。	派遣校数	45校
		4 ラグビーによる郷土づくり	ラグビーの普及による郷土愛の醸成を図るため、アルカス熊谷チームと連携し、平成28年度から事業を開始。	—	—